

「JENESYS2.0」

中国大学生訪日団第2陣

訪問日程 平成25年7月2日（火）～7月9日（火）

1 プログラム概要

中国日本友好協会が派遣した中国大学生訪日団第2陣計29名が、7月2日から7月9日までの7泊8日の日程で来日しました。（団長：張孝萍（チョウ・コウヘイ） 中国日本友好協会・政治交流部副部長）

本事業は「JENESYS2.0」の一環として行われ、日本の大学生とのバスケットボールをはじめとした交流活動のほか、企業視察、農業体験、ホームステイ、京都・奈良の世界遺産参観等を通じ、クールジャパンに直接触れ、日本に対する包括的な理解を深めました。

2 日程

7月2日（火）

成田空港着、皇居二重橋参観、オリエンテーション

7月3日（水）

国会議事堂参観、企業施設参観（凸版印刷博物館）、明治大学訪問・バスケットボール交流、日中友好会館主催歓迎会

7月4日（木）

京都へ移動、京都外国語大学訪問・交流、嵐山参観

7月5日（金）

立命館大学訪問・関連施設見学、企業施設参観（京セラファインセラミック館）、伏見稲荷参観

7月6日（土）

世界遺産参観（清水寺）、奈良へ移動、農業体験、ホームステイ

7月7日（日）

ホームステイ、日本文化体験（ハンカチ藍染）、若草山参観

7月8日（月）

奈良県観光局国際課ブリーフ、世界遺産参観（東大寺、奈良公園）、商業施設参観、歓送報告会

7月9日（火）

関西空港より出国

3 写真

	
7月3日 歓迎会で挨拶する河上淳一外務省アジア大洋州局アジア青少年交流室長（東京都）	7月3日 歓迎会で日本の大学生と交流（東京都）
7月3日 外務省亚洲太平洋局亚洲青少年交流室长河上淳一在欢迎会上致词（東京都）	7月3日 在欢迎会上与日本大学生交流（東京都）
	
7月2日 皇居二重橋参観（東京都）	7月3日 国会議事堂参観（東京都）
7月2日 参观皇居二重桥(東京都)	7月3日 参观国会议事堂（東京都）
	
7月3日 凸版印刷博物館参観（東京都）	7月3日 張团长(右)と明治大学国際教育副センター長菊地端夫准教授(左)が記念品交換
7月3日 参观凸版印刷博物馆（東京都）	7月3日 張团长（右边）与明治大学国际教育副中心长菊地端夫准教授（左边）交换纪念品

	
7月3日 明治大学バスケットボール交流(東京都)	7月3日 明治大学バスケットボール交流(東京都)
7月3日 明治大学籃球交流(東京都)	7月3日 明治大学籃球交流(東京都)
	
7月4日 京都外国語大学学生と交流会(京都市)	7月4日 京都外国語大学の学生と嵐山を散策(京都市)
7月4日 与京都外国語大学学生的交流会(京都市)	7月4日 与京都外国語大学学生参观嵐山(京都市)
	
7月5日 立命館大学スポーツ健康科学部岡本直輝教授からセミナーを受ける(滋賀県草津市)	7月5日立命館大学スポーツ健康科学部の学内施設見学(滋賀県草津市)
7月5日 听立命馆大学运动健康科学部冈本直輝教授的讲座(滋贺县草津市)	7月5日与学生参观立命馆大学运动健康科学部的相关设施(滋贺县草津市)

	
7月5日京セラファインセラミック館参観(京都市)	7月5日 伏見稲荷大社参観(京都市)
7月5日 参观京瓷 FINE CERAMIC 馆(京都市)	7月5日 参观伏见稻荷大社(京都市)
	
7月6日 清水寺参観(京都市)	7月6日 農業体験(奈良県明日香村)
7月6日 参观清水寺(京都市)	7月6日 体验农活(奈良县明日香村)
	
7月6日 奈良県立万葉文化館で入村式(奈良県明日香村)	7月6日 ホームステイ先で着付け体験(奈良県明日香村)
7月6日 在奈良县立万叶文化馆进行入村仪式(奈良县明日香村)	7月6日 在民宿家庭体验穿和服(奈良县明日香村)

	
7月7日 ホストファミリーとお別れ(奈良県明日香村)	7月7日 ハンカチの藍染め体験(奈良県郡山市)
7月7日 与民宿家庭告别(奈良县明日香村)	7月7日 体验手绢蓝染(奈良县郡山市)
	
7月7日 若草山山頂展望台参観(奈良市)	7月8日 奈良公園参観(奈良市)
7月7日 参观若草山山顶瞭望台(奈良市)	7月8日 参观奈良公园(奈良市)
	
7月8日 奈良県観光局国際課から奈良県の魅力についてブリーフ(奈良市)	7月8日 県庁屋上から眺望を楽しむ(奈良市)
7月8日 关于奈良县的魅力由奈良县观光局国际课进行讲座(奈良市)	7月8日 在奈良县地方政府的天台欣赏风景(奈良市)

	
7月8日 東大寺参観(奈良市)	7月8日 歓送報告会 訪日成果報告(大阪府)
7月8日 参观东大寺(奈良市)	7月8日 在欢送报告会汇报访日成果(大阪府)

4 参加者の感想

○たった数日の日本訪問が、たくさんの収穫と思い出を残してくれた。最も忘れ難いのは明日香村でのホームステイだ。お世話になったのは70歳を超えた老夫婦の家庭で、温かいおもてなしをいただいた。おかげで、思い出に残る特別な夜を過ごすことができ、言葉は通じなくても、心で交流した。ジェスチャーや辞書を使って夕飯づくりも手伝い、まるで自分の家にいるようだった。帰国したら、友人たちに、ここで見たこと、体験したこと、学んだことを伝え、本当の日本、今の日本を知らせたい。

○訪問中、日本の経済、社会、歴史について、いろいろな形で情報を受け取り、経済と技術の先進性や社会と伝統の融合に強いインパクトを受けた。一つ一つの事柄の細部にまで完璧が期されている。大収穫の訪問となった。

○印象深いのは、日本人がどんなことでもおろそかにせず細部にまで気を使うこと、真剣に取り組むこと、きれい好きなこと、礼儀を大切にすること、時間を守ること、自分の仕事に誇りを持ち、文句を言わずに黙々とやり遂げることである。

環境も素晴らしく、どこに行ってもゴミひとつ落ちていないこと、サービスの対応がどこでも素晴らしいこと、誰もが親切で親しみやすいこと、これらすべてを帰国後に、友人たちに伝えたい。

○今回の日中友好交流活動に参加して印象深かったことは、日本人の温かさと何事もおろそかにしない仕事の姿勢だ。滞在中、日本の文化、経済、政治などに触れたが、百聞は一見に如かずの言葉通り、実際にこの目で見た日本はこれまでの日本についての認識とは全く異なっていた。道路にゴミ一つ無く、空気は良い香りがする。私は日本が大好きになった。帰国したら、友人たちに、日本人は人情が厚く飾り気がないこと、景色が素晴らしいことを伝えたい。旅行や留学先として良いところである。私もまた是非、日本を訪れたい。

○訪問日程がすべて終わり、最も深い印象として思い出されるのは、やはり明日香村でのホームステイだ。

ホームステイ先に向かう車中で聞いた郷土色香る音楽を私は忘れない。到着時、一家そろって出迎え、抱きしめてくれた情景を、私たちのために用意されたご馳走の数々を、片言の言葉で行われた熱い語らいの時を、あの幸せな家族の一人一人を、朝の目覚めの時の細やかな配慮を、ここが自分の家ではないかと錯覚したことを、家族そろって、私たちの希望をくんで案内してくれたことを、笑顔の一つ一つを、去っていく私たちを見送るまなざしを、そして、別れの時、思わず流れ落ちた涙を、私は忘れない。

今この時、家に帰れる嬉しさより、この地を去る名残惜しさと胸がいっぱいだ。

○今回の訪問で最も印象深かった活動が二つある。

一つは、明治大学で行われたバスケット交流。国別チームで試合をするとばかり思っていたが、実際には日中混合チームで行われた。もとよりスポーツに国境はない。メンバーは自分のチームのために懸命に闘い、絶妙のコンビネーションの数々が見られた。最後には、勝っても負けても、抱き合って称えあった。国家間がどうであれ、私たち若者にとって、平和こそが共通の願いだ。

二つめは、ホームステイ。もともと日本人の生活を体験できる機会が与えられるとは思ってもみなかった。たった一晩だったが、中国人と日本人の生活の仕方に、天と地ほどの違いがあることが分かった。日本では、夜間の社交はあまり行われず、早めに帰宅し、家族で食事をしてから、音楽を楽しんだり、テレビを見たり、おしゃべりをしている。日本人は家庭を大事にし、客を一生懸命にもてなす。私は家族の一員のように、かゆいところに手の届くようなお世話を受けて、本当に感動した。

最後に、中日友好協会がこの機会を与えてくれたことに感謝したい。若い世代の自分たちには、両国関係を守っていく使命があると思う。

さようなら、美しい日本、また来るから、私を待っていてほしい。帰国後、周りの人たちに伝えたいのは、本当の日本を知りたければ、実際に訪れて感じるのが良いということだ。

○この活動に参加するまで、日本は書物やネットの中にあり、不完全な理解しかしていなかった。今回の活動を通じ、日本の印象が立体的で具体的なものになり、日本人はより親切で、温かく、礼儀正しいと感じた。また、日本が自国の文化を継承し発展させてきた努力と貢献を体得し、日本の青少年が調和のとれた発展を願っていることを感じる事ができた。

○日本人の日常生活は、想像よりも大変規則的だった。人々はとても親切で、細かな点まで礼儀作法を重んじている。今回の活動で3つの大学を訪問し、日本の学生との会話を通して、これまで想像していたのとは大きく異なる日本を知ることができた。

○日本人は皆親切で、責任感が強く、私たちを親しい友人として、両国間に問題があるからといって、態度が変わることはなかった。また、日本人はとても礼儀正しく礼節を重んじている。

国の違いによる文化の差を感じたものの、バスケットボールには何ら差が無く、国境を感じることはなかった。最大の収穫は、異文化に触れることができたことと、自分の日本に対する理解を深めることができたことだ。歴史、文化、社会など多方面にわたり、たくさんのことを学んだ。